

## 参 考 資 料

○「秋田市次世代育成支援に関する市民意識調査」調査結果

# 秋田市次世代育成支援に関する市民意識調査の概要

## 1 調査の目的

本調査は、秋田市子ども・子育て未来プラン（次世代育成支援行動計画後期計画）に掲げている施策の中間年度における点検・評価および今後の次世代育成支援施策の検討にあたり、市民の皆様の子育てに関する生活実態やご意見などを把握することを目的として実施しました。

## 2 実施状況

### (1) 就学前児童の保護者

- ・調査方法 : 郵送にて配布、回収
- ・対象者数 : 1,080人
- ・回収数 : 606通
- ・回収率 : 56.1%

### (2) 小学校児童の親

- ・調査方法 : 郵送にて配布、回収
- ・対象者数 : 960人
- ・回収数 : 525通
- ・回収率 : 54.7%

## 3 調査時期

平成24年8月

## 4 調査結果

主な設問の回答結果とその内容については、次のとおりです。

### 【子育てサービスの認知度】

就学前児童の保護者では、「小児の救急、小児医療」との回答が96.3%と最も多く、前回「平成20年度秋田市次世代育成支援に関するニーズ調査」（以下、「前回調査」という。）と同様の結果となっています。小学校児童の保護者では、「児童館、児童センター」が99.6%で最も多く、前回調査より4.5ポイント増加しています。

### 【子育てに関しての不安や負担感】

就学前児童の保護者では、「非常に感じる」・「ときどき感じる」割合が74.8%で、前回調査より0.8ポイント減となっています。一方、小学校児童

の保護者の場合、「非常に感じる」・「ときどき感じる」割合は73.3%で、前回調査より1.9ポイント増加しています。

**【子育てに関する悩みや不安】**

就学前児童の保護者では、前回調査と同様、「子育てで出費がかさむこと」が49.3%で最も多く、次いで「子どもを叱りすぎているような気がする」が42.1%となっています。小学校児童の保護者も「子育てで出費がかさむこと」が最も多く（42.1%）、次いで「食事や栄養に関すること」となっています。

**【今後、必要だと思う子育て支援のための施策】**

就学前児童の保護者では、「保育所や幼稚園にかかる費用負担を軽減する」が64.7%で最も多く、前回調査と同じ結果となっています。小学校児童の保護者では、「安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備する」が46.9%で最も多く、こちらも前回調査と同じ結果です。

**【ワーク・ライフ・バランスの認知度】**

今回から新たに加えた項目です。就学前児童の保護者では、「名前も内容も知っている」が18.0%、「名前は聞いたことがあるが、内容までは知らない」が32.8%となっています。小学校児童の保護者でも、「名前も内容も知っている」が15.5%、「名前は聞いたことがあるが、内容までは知らない」が22.4%となっており、まだまだ認知度は低い状況です。

なお、回答結果の集計にあたりましては、複数回答の設問の場合、回答数の比率は集計対象者数に対するものであり、合計が100%を超える場合があります。また、自由記述回答については、本集計結果から省略しています。寄せられたご意見は、今後の本市の次世代育成支援施策を検討していくにあたって、参考とさせていただきます。

次ページから、全調査項目についての回答結果を記載しています。